

SEVANATHAによるスリランカの都市における コミュニティに根ざした廃棄物管理事業

Presented by

セバナサ・アーバン・リソース・センター
(スリランカにおける代表的な環境NGO)
エグゼクティブディレクター
H.M.U.チュララスナ

At the

Expert Group Meeting (EGM)

Organized by UN-Habitat

International Conference Hall, Tenjin, Chuo-Ku, Fukuoka, Japan

28th & 29th October 2009

廃棄物に関する基礎データ

◎ 自治体別廃棄物の排出量(in 2008)

- 首都(コロンボ) – 0.85 kg
- 他の市 (自治体) – 0.75 kg
- 都心地区 – 0.60 kg
- 地方部 – 0.40 kg

- ◎ 市廃棄物総量 – 6400 tons per day in 2008.
- ◎ 回収総量 – 2700 tons (42.2%)

- 廃棄物の内訳
- 生物分解性ゴミ – 62.0%
- 紙 – 6.5%
- プラスチック – 6.0%
- ガラス – 2.0%
- その他ゴミ – 17.5%

Source – *National Policy on SWM in Sri Lanka, Ministry of Environment and Natural Resources(2008)*

廃棄物に関する政策・取り組みと課題

- ◎ 管轄 : 地方自治体 (M.Cs, U.Cs, P.Ss)
- ◎ 監督省庁:
 - i. 地方自治体省
 - ii. 環境・自然資源省
- ◎ 関係機関:
 - i. 中央環境機関
 - ii. 地方廃棄物管理機関
 - iii. 関係省庁のもと、プロジェクトごとの部門運営 (例: 地方自治体省のもとで、JICA支援廃棄物支援センターを運営)
 - iv. ドナー支援によるプログラム (ex: European Union, UNOPS, UN-ESCAP, Red Cross, etc)
 - v. NGO支援によるプログラム : SEVANATHA, Energy Forum, etc.

スリランカにおける廃棄物管理政策環境

- ◎ Municipal Council Ordinance, Urban Council Ordinance and Pradeshiya Sabha Act等の法による規制
- ◎ SWM is an obligatory Function of MCs, UCs, and PSs
- ◎ 2000年に初めての全国的な廃棄物管理政策と戦略が策定される
- ◎ 2008年に2回目の全国的な廃棄物管理政策と戦略が策定される
- ◎ 2007年に西部自治体連合が自治体廃棄物機関を設立

新しい廃棄物管理政策(2008)

- ◎ 廃棄物を排出する機関、管理者、サービス従事者の環境責任と社会責任を明確化
- ◎ すべての機関・団体や個人の参加による環境に配慮した廃棄物管理を実施
- ◎ ゴミの排出の最小化と資源再生の最大化
- ◎ 廃棄物の排出による環境への悪影響を最小化し、人とエコシステムの健康と保全を目指す

政策の原則

- ◎ 3Rの原則に基づいて廃棄物管理を行い、適切な最終処分を行う。
- ◎ 政府の環境基準を遵守する。
- ◎ “Polluter Pay”（汚染者負担）アプローチを含む市場メカニズムを適用する。
- ◎ 資源の最大化と生産者責任のアプローチ
- ◎ 適切な法規制の適用
- ◎ 効率的かつコスト効率の高い廃棄物管理のためのパートナーシップの実現
- ◎ 資金の適切な流動化戦略と資金メカニズムの実現
- ◎ 廃棄物管理のすべてのプロセスにおける、あらゆるステークホルダーの参加を促す

現在スリランカで実施中の廃棄物管理プログラム

- ◎ **The Central Environmental Authority (CEA) Implemented “PILISARU” SWM Programme: *Towards Garbage Free Sri Lanka***
 - Country wide Programme
- ◎ **JICA Assisted National SWM Support Centre Programme**
 - Operational in Five (05) Provinces out of 09 provinces in Sri Lanka
- ◎ **European Union Assisted UNOPS SWM Programme in the Eastern Province**
 - Operational since 2007
 - Coverage all the urban centers in the Eastern Province

NGOの実施による廃棄物管理プログラム

- SEVANATHA's SWM Programme (in Colombo, Matale, Nuwara Eliya , Kalmunai and Kalutara)
- Energy Forum's SWM Project (in Hambanthota town)
- Red Cross supported SWM Programme in Kalutara District

セバナサの廃棄物管理プログラム

アプローチ:

- ◎ 3Rの原則に基づく
- ◎ コミュニティに根ざした手法によるプロジェクトの実施
- ◎ 自治体・ドナー・その他ステークホルダーとのパートナーシップによる実施
- ◎ 内外で経験と情報を共有する
- ◎ 実験と革新

セバナサの活動の歴史

- ◎ 1997年からコミュニティに根ざした廃棄物管理の活動に従事
- ◎ 1997年から家庭用コンポストを紹介してきたパイオニア
- ◎ 1998年からリサイクルゴミセンターの仕組みを紹介
- ◎ 市場ゴミからバイオガスの利用をはじめて紹介
- ◎ コミュニティに根ざした廃棄物管理のトレーニング・モジュールを構築
- ◎ 自治体職員、NGO、児童や大学生を対象にトレーニングを実施
- ◎ 政府・地方レベルで開催の政策フォーラム等に参加
- ◎ CITY NET (JAPAN), ACHR (BANGKOK), EDNA (Vietnam), Waste Concern (Bangladesh)などの地域パートナーと連携し、経験を共有
- ◎ アジア地域の他のNGOと連携し家庭用コンポスト利用の経験を共有
- ◎ 50,000 以上のコンポスト容器を都市部の住民に配布
- ◎ 各自治体によるリサイクルゴミの収集センターの設置を支援

セバナサによる現在実施中のプログラム

- ◎ **Continuous training on Community based SWM emphasizing on 3R Principles**
- ◎ **A project in Kalmunai Municipality in the Eastern Province covering 3000 families.** *Project Period – July 2007 till July 2010*
- ◎ **Community Based Compost yard in Matale Town (MEC Compost Yard)**
 - Started in July 2007 and continue to date
 - Funding support: UN-ESCAP support through SEVANATHA
 - Partnership Among: UN-ESCAP, SEVANATHA and Matale Municipality
 - **Coverage:** Residential units – 578, Pavement Shops – 92, Small business units - 170

Replication of MEC Compost Model

- The Central Environmental Authority provides Grant assist to LAs to initiate similar compost yards in other towns under PILISARU Programme.
- Sri Lanka Navy has replicated it in the Eastern Province of Sri Lanka

コミュニティに根ざした廃棄物管理の実施における課題

マクロレベルでの課題:

- 主要ステークホルダーの廃棄物管理に対する責任の不足
- 廃棄物排出者による分別や安全に対する責任の不足
- 住民や廃棄物排出者の自治体に対する高い依存
- 政府における廃棄物管理政策の優先順位の低さ
- 廃棄物の扱いに関するツールや手法に関する調査の不足
- 低い民間参入

ミクロレベルでの課題:

- 地元ステークホルダーからの資金支援の不足
- 熟練したスタッフの長期確保の困難
- 限定される再利用可能ゴミの市場規模（不安定な価格）
- 限定される堆肥の市場
- 廃棄物管理を手がけるNGOにとってインセンティブが不足

THANK YOU